

# 令和4年度事業成績書

(更)全国更生保護法人連盟

## 第1 会議関係

### 1 常務理事会

第1回

令和4年 4月20日

更生保護会館

出席者 11人

(うちオンライン参加者

3人)

※オンライン会議 (zoom ミーティング方式) 併用によるハイブリット方式で開催

「議事事項」

① 令和3年度事業成績書 (案)

② 令和3年度一般会計収支決算及び傷害共済特別会計収支決算 (案)

「協議事項」

・全更連として取り組むべき事項等について

「報告・連絡事項」

○保護局

・令和4年度予算の概要について

・令和5年度予算要求に向けた検討について

・経営サポートモデル事業 (案) について

・フィリップ・モリス・インターナショナルによる基金について

○全更連

・令和4年度行事予定

第2回

令和4年10月 5日

更生保護会館

出席者 11人

(うちオンライン参加者

4人)

※オンライン会議 (zoom ミーティング方式) 併用によるハイブリット方式で開催

「協議事項」

① 令和5年度更生保護施設関係予算要求を踏まえた更生保護事業の在り方見直しの今後について

② 連絡助成事業協議会について

③ 全更連として取り組むべき事項等について

「報告・連絡事項」

○保護局

・事業法改正に係る法人の定款変更等について

・新型コロナウイルス感染症の感染状況について

・訪問支援事業の実施状況について

○全更連

・令和4年度瀬戸山賞受賞者について

・社会貢献者表彰受表彰者について

第3回

令和5年 2月 3日

アルカディア市ヶ谷

出席者 11人

(うちオブザーバー参加者

2人)

「協議事項」

(1) 第4回理事会・第3回評議員会の審議事項

①第1号議案 令和5年度事業計画 (案)

②第2号議案 令和5年度一般会計収支予算

及び傷害共済特別会計収支予算 (案)

③第3号議案 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急助成 (案)

④第4号議案 評議員の選任 (案)

(2) 内田基金管理運営要領 (案)

「報告・連絡事項」

○全更連

・令和5年度行事予定

## 2 理事会

### 第1回（書面議決）

令和4年 4月 1日  
理事総数 20人  
回答人員 20人

### 第2回

令和4年 5月10日  
アルカディア市ヶ谷  
理事総数 19人  
出席者 13人  
監事 2人

### 第3回（書面議決）

令和4年 8月 1日  
理事総数 19人  
回答人員 19人

### 第4回

令和5年 2月28日  
更生保護会館  
理事総数 19人  
出席者 15人  
監事 1人

## 3 評議員会

### 第1回

令和4年 5月10日  
アルカディア市ヶ谷

### 「議案」

第1議案 理事長・副理事長・常務理事の互選 . . . . . 原案どおり承認  
その他 議事録署名人の選任 . . . . . 原案どおり承認

### 「議案」

第1号議案 令和3年度事業成績書（案） . . . . . 原案どおり承認  
第2号議案 令和3年度一般会計収支決算（案）  
及び傷害共済特別会計収支決算（案） . . . 原案どおり承認  
その他 議事録署名人の選任 . . . . . 原案どおり承認

### 「報告・連絡事項」

- 全更連
  - ・令和4年度行事予定
- 保護局
  - ・令和4年度予算の概要について
  - ・令和5年度予算要求に向けた検討について
  - ・経営サポートモデル事業（案）について
  - ・フィリップ・モリス・インターナショナルによる基金について

### 「議案」

第1号議案 評議員の選任 . . . . . 原案どおり承認  
第2号議案 常務理事の選任 . . . . . 原案どおり承認  
その他 議事録署名人の選任 . . . . . 原案どおり承認

### 「議案」

第1号議案 令和5年度事業計画（案） . . . . . 原案どおり承認  
第2号議案 令和5年度一般会計収支予算  
及び傷害共済特別会計収支予算（案） . . . 原案どおり承認  
第3号議案 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急助成（案） . 原案どおり承認  
第4号議案 評議員の選任（案） . . . . . 原案どおり承認  
その他 議事録署名人の選任 . . . . . 原案どおり承認

### 「報告・連絡事項」

- 全更連
  - ・令和5年度行事予定
- 保護局
  - ・「世界一安全な日本」創造戦略2022（抄）
  - ・第二次再犯防止推進計画（案）（抄）
  - ・更生保護施設職員処遇力強化研修
  - ・法改正に伴う定款変更手続
  - ・フリップ・モリス・インターナショナルによる基金
  - ・物価高騰対策関係の調査協力依頼
  - ・社明運動広報ポスター紹介

### 「議案」

第1号議案 令和3年度事業成績書（案） . . . . . 原案どおり承認  
第2号議案 令和3年度一般会計収支決算（案）

評議員総数	39人	及び傷害共済特別会計収支決算（案）	・・・原案どおり承認
出席者	19人	その他 議事録署名人の選任	・・・・・・原案どおり承認
書面表決者	20人		

「報告・連絡事項」

- 全更連
  - ・令和4年度行事予定
- 保護局
  - ・令和4年度予算の概要について
  - ・令和5年度予算要求に向けた検討について
  - ・経営サポートモデル事業（案）について
  - ・フィリップ・モリス・インターナショナルによる基金について

第2回（書面議決）

令和4年	7月11日	第1号議案	理事の選任	・・・・・・原案どおり承認
		その他	議事録署名人の選任	・・・・・・原案どおり承認
評議員総数	35人			
回答人員	35人			

「議案」

第3回

令和5年	3月8日	第1号議案	令和5年度事業計画（案）	・・・・・・原案どおり承認
		第2号議案	令和5年度一般会計収支予算	
			及び傷害共済特別会計収支予算（案）	・・・原案どおり承認
更生保護会館		第3号議案	電力・ガス・食料品等価格高騰緊急助成（案）	・原案どおり承認
評議員総数	38人	その他	議事録署名人の選任	・・・・・・原案どおり承認
出席者	25人			

「議案」

「報告・連絡事項」

- 全更連
  - ・令和5年度行事予定
- 保護局
  - ・「世界一安全な日本」創造戦略2022（抄）
  - ・第二次再犯防止推進計画（案）（抄）
  - ・更生保護施設職員処遇力強化研修
  - ・法改正に伴う定款変更手続
  - ・フリップ・モリス・インターナショナルによる基金
  - ・物価高騰対策関係の調査協力依頼
  - ・社明運動広報ポスター紹介
  - ・人事院勧告の委託事務費への反映

4 傷害共済審査委員会

第1回（書面議決）

令和4年	8月29日
構成員	8人
出席委員	8人

「洗心之家：補導員」

令和4年2月18日、岐阜保護観察所に書類を届けるために施設の車を運転して出向いた際、駐車場に車を駐車後、保護観察所の建物入口横で凍結した路面に足を取られて転倒し右上腕部骨折の負傷をしたもの。  
35日の通院加療。（給付決定）

第2回（書面議決）

令和4年	9月30日
構成員	8人
回答委員	8人

「長野司法厚生協会裾花寮：福祉職員」

令和4年1月30日午前8時頃、休日勤務のため自宅から徒歩で施設に出勤する際、同日午前8時10分頃茂菅大橋を渡っている途中、前日の降雪が残って路面が凍結していたため、茂菅袖橋との連結部分の鉄板上で足を滑らせて転倒した。転倒時に咄嗟に左手をついて庇おうとし、手首付近を強打し左手橈骨遠

第3回（書面議決）

令和4年10月 6日

構成員 8人

回答委員 8人

位端骨折の負傷をしたもの。

34日の通院加療。（給付決定）

「みやざき青雲：元調理員」

令和4年6月9日午前4時20分頃、自宅から自家用車で施設に出勤する途中、宮崎市柳丸町の宮崎公共職業安定所付近の交差点手前で赤信号で停車中に後続車両に追突される事故に遭い、頸椎捻挫の負傷をしたもの。

27日の通院加療。（給付決定）

第4回（書面議決）

令和4年10月17日

構成員 8人

回答委員 8人

「長野司法厚生協会裾花寮：福祉職員」

令和4年8月3日午前8時頃通常勤務のため、自宅から自転車で施設に出勤する際、同日午前8時10分頃長野市新諏訪1丁目21番地付の交差点手前で、一旦停止し左右を確認しようとした時、右側から進行してきた車両に接触されて自転車ごと転倒し両肘打撲擦過創及び両大腿打撲傷の負傷をしたもの。

3日の通院加療。（給付決定）

第5回（書面議決）

令和4年12月12日

構成員 8人

回答委員 8人

「静修会足立寮：調理員」

令和4年6月10日の夕刻、寮の夕食を作るために自宅から徒歩で出勤する途中、自宅前のコンクリートの段差でつまずき、前方によろけて左膝からねじれるように転倒し、左大腿骨頸部骨折の負傷をしたもの。

89日の入院加療。（給付決定）

第6回（書面議決）

令和5年 1月16日

構成員 8人

回答委員 8人

「京都保護育成会：施設長」

令和4年12月20日（火）午前11時頃、施設事務室内の机上において事務処理中、カッターナイフを用いて紙片を切断していたところ、カッターナイフが滑り紙片を抑えていた左手人差し指（第2指）先端部に当たり、同部位に約2センチメートルの切創を負ったもの。

4日の通院加療。（給付決定）

第7回（書面議決）

令和5年 1月27日

構成員 8人

回答委員 8人

「新潟県保護会（新潟川岸寮）：補導員」

令和4年12月19日（月）午後1時頃、寮生Aが寮生Bに対して暴力をふるったため、制止に入ったところ、興奮した寮生Aから顔面を2回拳で殴打されて全治一週間の打撲を負ったもの。

2日の通院加療。（給付決定）

第8回

令和5年 3月27日

更生保護会館島津ルーム

構成員 8人

出席委員 7人

欠席委員 1人

①「川崎自立会：補導員」

令和4年8月9日（火）午前6時25分頃、埼玉県坂戸市の自宅から自家用車で施設に出勤する途中、東京都大田区南久が原2-19付近の交差点手前で赤信号で停車中のところ、後続車両に追突されて頸椎捻挫・右肩関節捻挫等の負傷をしたもの。

48日の通院加療。（給付決定）

②「新興会：補導主任」

令和5年2月11日（土）、休日勤務のため自宅からバイクを運転して施設に出勤する際、同日午前7時15分頃埼玉県狭山市広瀬1-2付近広瀬橋を走行している途中、路面が凍結していたため、バイクごと転倒して右肘及び右脇腹打撲傷の負傷をした。

20日の通院加療。（給付決定）

## 第2 事業計画関連事業等

令和元年度末に発生した新型コロナウイルス感染症について、可能な限りの感染防止対策を講じつつ、更生保護事業を継続してきたものの新たな課題も見えてきた実績を踏まえ、更生保護施設を始めとする更生保護事業者が、刑務所出所者等の社会復帰支援を一層推進できるよう、次のとおり事業を実施した。

まず、平成30年から始まった更生保護事業の在り方の抜本的な見直しは、①フォローアップの充実、②更生保護地域連携拠点の設置、③委託費構造の見直し等による処遇や支援の充実という3本柱を重点課題として優先的に取り組むこととされたので、これらを推進するとともに、施策の実施状況や課題、そして、令和4年6月の更生保護事業法等の法改正を踏まえて、更生保護事業の在るべき姿やそれを実現するために必須である更生保護施設など更生保護事業者の経営の安定化のための更なる方策を法務省保護局とともに鋭意検討を進めた。

### 1 更生保護法人の組織運営、事業内容の充実強化

#### (1) 連絡助成事業協議会

主 催：法務省保護局

更生保護法人 全国更生保護法人連盟

更生保護法人 日本更生保護協会

開催日：令和4年10月25日（火）及び26日（水）

開催場所：更生保護会館

開催方法：ハイブリット方式(会場参加及びオンライン参加の併用)。

協議員：連絡助成事業を営む更生保護法人の役職員 64名

★地方更生保護委員会事務局更生保護管理官 8名

★保護観察所連絡助成事業者担当管理職 49名

(★はオンライン参加、以下同様)

協議内容：本協議会は、連絡助成事業の現状、課題、今後の展望等について協議・意見交換等を行い、もって連絡助成事業の発展を図ることをその趣旨として実施した。

地域連携拠点事業の実施、更生保護ネットワークの運営、ネットワーク協議会の立ち上げ、県の再犯防止事業の受託、ホームページの作成等の取組の発表があった。

また、協会の基本財産の運用検討を含めた収入源の多様化等の課題も協議された。

連絡助成事業を営む更生保護法人にとって、改正更生保

護事業法等の施行を見据え、再犯防止推進に資する地域連携・助成事業の企画、準備のためのキックオフに相応しい協議会となった。

(2) 更生保護事業の在り方に関する全国協議会（経営研究会）

主 催：法務省保護局

更生保護法人 全国更生保護法人連盟

開催日：令和5年2月2日（木）及び3日（金）

開催場所：アルカディア市ヶ谷

開催方法：ハイブリット方式(会場参加及びオンライン参加の併用)。

協議員：継続保護事業を営む更生保護法人の役職員 105名

地方更生保護委員会事務局更生保護管理官 8名

★保護観察所所管統括保護観察官等 45名

協議内容：本協議会は、継続保護事業を営む更生保護法人等の役職員の参集を求め、今後の更生保護事業の具体的な方向性等について研究協議を行い、継続保護事業の発展を図ることを目的として実施した。

全更連今福理事長の「今般の更生保護事業法等の重要改正の意義とこれからの更生保護施設の展望」と題する講話の後、保護局から「更生保護事業を取り巻く状況（第二次再犯防止推進計画・地域再犯防止推進事業等における更生保護施設の位置付け等）」、「令和5年度政府予算案の概要等」について行政説明を受け、「更生保護施設における処遇の充実」をテーマに『処遇のメニュー化』、『訪問支援事業』、『法人の運営基盤の強化』、『更生保護施設のプレゼンス・認知度の向上』について協議を行った。

(3) 予算の確保

更生保護法人関係予算について、上記会議等の協議結果を踏まえ、更生保護委託費、更生保護事業費補助金等の予算増額が図れるよう、関係機関・団体に働き掛けるなど積極的な活動を展開した。

(4) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止

法務省保護局と連携し、感染者が発生したときの対応及び感染対策等情報共有を進めたほか、更生保護振興財団と協議の上、助成事業の充実を図った。

(5) 電力・ガス・食料品等価格高騰対策

コロナ禍に加え、電力・ガス・食料品等価格高騰の影響を受けて、厳しい事業運営を余儀なくされている更生保護施設に対し、当連盟から各更生保護施設に10万円を緊急助成した。

2 更生保護施設における処遇機能の充実強化

(1) 少年関係更生保護施設基本問題研究会

主 催：更生保護法人 全国更生保護法人連盟

開催時期：令和4年9月1日（木）

開催場所：更生保護会館

開催方法⇒新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、Z o o mミーティング方式による研究、協議会等に変更して実施。

概 要：本研究会は、少年施設が抱える諸問題の解決策や少年の特性を踏まえた効果的な少年処遇の在り方について、関係施設の補導職員が中心となって研究することにより、少年関係更生保護施設における運営及び処遇の充実・強化を図ることを目的として実施した。保護局から「成人年齢引き下げに伴う新たな保護観察処遇等について留意する事項等」に関して説明を受けた後、①成人年齢引き下げに伴う新たな保護観察処遇等について留意する事項等、②少年関係保護施設の現状と課題、③訪問支援事業、委託費構造の見直し等について協議を行った。

(2) 更生保護施設におけるS S T研修

主 催：更生保護法人 全国更生保護法人連盟

開催日：令和4年9月8日（木）及び9日（金）

開催場所：アルカディア市ヶ谷

研修員：29名

研修内容：更生保護施設の被保護者には対人関係の改善を必要とする者が多く、S S Tは、被保護者の自立を促進するための有効な処遇方法の一つであるところ、更生保護施設の補導職員を対象として、S S Tに関する基礎的な知識及び技術等を修得することにより、更生保護施設における処遇の充実を図ることを目的として実施した。

3名のS S T普及協会認定講師から講義（S S Tの基本知

識や行動リハーサル等のアプローチ) やグループ別による指導 (S S T練習等) を受けたほか、各グループの代表者によるS S T練習の成果発表を行い、講師からのアドバイスを受けるほか、研修生同士の協議を行った。

### (3) 更生保護施設管理研修

主 催：法務省保護局

更生保護法人 全国更生保護法人連盟

開 催 日：令和4年10月11日（火）及び12日（水）

開催場所：法務省浦安総合センター

研 修 員：8名

研修内容：比較的経験年数が浅い更生保護施設の施設長に対して、施設の責任者として、業務の管理、処遇の企画、職員の統括及び地域社会との調整に必要な知識等の向上を図ることを目的として実施した。

更生保護法人理事長、施設長や外部講師による「更生保護施設に期待される役割」、「更生保護施設における処遇」、「更生保護施設と福祉との関わり」、「処遇における危機場面での対応」等についての講義やグループ討議等を行った。

### (4) 新任更生保護施設補導職員研修

主 催：法務省保護局

更生保護法人 全国更生保護法人連盟

開 催 日：令和4年11月24日（木）及び25日（金）

開催場所：更生保護会館

研 修 員：54名

開催方法⇒新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により集合研修は実施せず、Z o o mミーティング方式による講義、意見交換等に変更して実施。

研修内容：比較的経験年数の少ない更生保護施設の補導主任、補導員、福祉職員及び薬物専門職員を対象に、職務遂行に必要な処遇に関する基礎的知識を修得することを目的として実施した。

更生保護施設長や外部講師による「更生保護施設に期待する役割」、「面接の基本と対象者との接し方」、「更生保護施設における処遇」等の講義中心の研修を行った。

- 3 地方更生保護施設連盟等が実施する事業等に対する協力・助成  
令和4年度地方別更生保護施設補導職員実務研修会及び刑務所出所者等に対する福祉支援に係る事例研究会については、助成実績はなかった。
- 4 関係機関・団体との連携
  - (1) 法務省保護局、更生保護法人日本更生保護協会、更生保護法人全国保護司連盟等更生保護関係機関・団体との連携を一層強化するとともに、更生保護事業に係る各施策が円滑に推進するように努めた。
  - (2) 更生保護施設等支援協議会及び地域のフードバンクとの協力関係を築き、同協議会からの食材提供に関する情報（森永製菓の菓子類等）の伝達等被保護者及びフォローアップ対象者の生活支援を進めた。また、女子定員を有する更生保護施設に対して、一般社団法人若草プロジェクトによるデジタルプラットフォーム（寄付サイト）である「T s u n A が〜る」への登録を紹介して、各施設のニーズに応じた支援が受けられるよう働き掛けた。
- 5 更生保護事業の広報の充実
  - (1) 全更連会報を2回（No.153号、No.154号）発行した。
  - (2) 全更連ホームページ内の事業成績等のデータ更新及び全国の更生保護施設等のホームページURLをリンク先に追加掲載した。
- 6 傷害共済規程に基づき、適正かつ円滑な運用を図った。本年度の傷害共済給付金については9件の申請があり、審査の結果、いずれも公務傷害と認められ、申請どおり給付決定された。
- 7 表彰及び慶弔・見舞い  
令和4年10月18日開催の「令和4年度保護司等中央研修会及び更生保護関係者の顕彰式典」において、顕彰及び慶弔規程に基づき、更生保護法人等の役職員に対する功労表彰を行った。